

ご案内

那医発第 113 号
令和 6 年 6 月 5 日

施設長 各位

那覇市医師会
会 長 友利 博朗
担当理事 宮城 淳



救急災害関係通知文の送付について

平素より医師会事業へのご支援ご協力賜り感謝申し上げます。
沖縄県医師会を通じ「救急災害関係通知文の送付について」が届きましたのでご案内申し上げます。
☆ 問合せ先（那覇市医師会 事務局：石垣・前泊/ 電話 098-868-7579）

・・記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

沖医発第 336 号 F

令和 6 年 6 月 4 日

地区医師会救急災害医療担当理事 殿

沖縄県医師会
副会長 田名 毅
(救急災害医療担当理事)
(公印省略)

救急災害関係通知文の送付について

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、日本医師会より、別添のとおり、下記救急災害関係通知文が届いておりますので、ご連絡申し上げます。
つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただきますとともに、貴管下関係機関に対する周知方についてご高配下さいますようお願い申し上げます。
なお、各通知の添付資料は省略しておりますので、各資料は、本会文書映像データ管理システムをご確認下さいますようお願い申し上げます。

記

- ① 「災害時のトリアージを理解しよう」特設サイトの公開について（第 29 回日本災害医学会総会・学術集会 市民公開講座）
(令和 6 年 5 月 17 日 日医発第 354 号(地域))
- ② 令和 6 年能登半島地震における JMAT（日本医師会災害医療チーム）の活動終了について
(令和 6 年 5 月 31 日 日医発第 444 号(地域))

沖縄県医師会業務第 1 課：新垣、徳村
TEL：098-888-0087
FAX：098-888-0089
E-mail：g1@okinawa.med.or.jp



日医発第 444 号 (地域)
令和 6 年 5 月 31 日

都道府県医師会長 殿

公益社団法人日本医師会
会長 松本吉郎
(公印省略)

令和 6 年能登半島地震における JMAT (日本医師会災害医療チーム) の活動終了について

令和 6 年能登半島地震において犠牲になられた方々のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。

さて、本災害における JMAT (日本医師会災害医療チーム) の活動は、全都道府県医師会、各郡市区医師会をはじめ、会員の先生、各医療機関並びに各関係者の方々に、震災発生直後から、被災地のアセスメント、診療・健康管理、病院・診療所・施設等支援、1.5 次・2 次避難所支援、重装 JMAT、そして JMAT 調整本部・支部の統括機能、ロジスティクス機能、並びに、派遣元におけるチーム編成・依頼・調整等の様々な活動につき、多大なるご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

本会では、全てのチームが 6 月 1 日までに帰還されること、また、被災地の医療提供の状況をもとに、5 月 28 日に開催した災害対策本部会議において、今般の JMAT 活動を 5 月 31 日をもって終了することといたしました。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了知いただくとともに、引き続き災害時におけるご支援、ご協力につきご高配を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



日医発第 354 号 (地域)
令和 6 年 5 月 17 日

都道府県医師会 担当理事 殿

公益社団法人 日本医師会
常任理事 黒瀬 巖
(公印省略)

「災害時のトリアージを理解しよう」特設サイトの公開について
(第 29 回日本災害医学会総会・学術集会 市民公開講座)

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本年 2 月 22 日 (木) ~ 2 月 24 日 (土) に、みやこめッセ (京都市勧業館) にて開催された、第 29 回日本災害医学会総会・学術集会本会において、市民公開講座「災害時のトリアージを理解しよう」(以下、「本市民公開講座」) を本会共催にて開催いたしました。(令和 6 年 1 月 15 日付日医発第 1793 号 (地域) でご連絡)

本市民公開講座は、日本医師会、日本臨床救急医学会、日本災害医学会、日本救急医学会で組織している「災害時のトリアージに関する合同委員会」において内容を企画し、災害時のトリアージには不確実性があるということを国民に広くお伝えすること、また医療者を守る法的・制度的な整備を国に申し入れていくことなどを目的としております。

今般、本市民公開講座について、当日の収録動画ならびに同日に公表した国民の皆様に向けた声明文である「トリアージをはじめとする災害医療についてご理解いただきたいこと」を掲載した特設サイトを公開しました。本会として、今後広く周知に努めていきたいと考えております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知の上、貴会会員・関係者だけでなく、広く一般の方への周知方につき、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

【日本医師会ホームページ 「災害時のトリアージを理解しよう」特設サイト】

<https://www1.med.or.jp/people/triage/>